

使用前に必ず本説明書を読み、注意事項を守って使用して下さい。

動物用医薬品

2019年5月改訂

貯法	2～8℃
----	------

承認指令書番号	26動薬第1915号
販売開始	平成18年3月
再審査結果	平成26年3月

動物用生物学的製剤
劇薬 要指示医薬品 指定医薬品

パラコックス[®]-5

(鶏コクシジウム感染症(アセルプリナ・テネラ・マキシマ2価・ミチス)混合生ワクチン(シード))

Paracox-5[®]

【本質の説明又は製造方法】

本剤は、弱毒アイメリア・アセルプリナ、弱毒アイメリア・テネラ、弱毒アイメリア・マキシマ及び弱毒アイメリア・ミチスをそれぞれ鶏腸管内で増殖させて得たオーシストを混合した生ワクチンである。振り混ぜると乳状の懸濁液であるが、静置すると無色澄明な上清と少量の白色の沈殿を生ずる。

【成分及び分量】

1羽分(0.004mL)中

成分		分量
主剤	弱毒アイメリア・アセルプリナHP株 オーシスト(シード)	500～650個
	弱毒アイメリア・マキシマ CP株 オーシスト(シード)	200～260個
	弱毒アイメリア・マキシマ MFP株 オーシスト(シード)	100～130個
	弱毒アイメリア・ミチス HP株 オーシスト(シード)	1000～1300個
	弱毒アイメリア・テネラ HP株 オーシスト(シード)	500～650個
溶剤	リン酸緩衝食塩液	適量

【効能又は効果】

アイメリア・アセルプリナ、アイメリア・マキシマ、アイメリア・ミチス及びアイメリア・テネラによる鶏コクシジウム症の発症抑制

【用法及び用量】

餌付け時の平飼いブロイラーヒナを対象とし、本剤を餌付け用の飼料に均一に混合して1回投与する。

投与方法:1羽当たり本剤0.004mLを餌付け用の飼料約2～5gに均一に混合して投与する。ヒナが混合飼料を摂取したことを確認した後に、通常の餌付け用飼料を給与する。

【使用上の注意】

(基本的事項)

1.守らなければならないこと

(一般的注意)

- ・本剤は、要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
- ・本剤は、効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- ・本剤は、定められた用法・用量を厳守すること。
- ・本剤はシードロットシステムにより製造され、国家検定を受ける必要のないワクチンであるため、容器又は被包に「国家検定合格」と表示されていない。

(使用者に対する注意)

- ・作業後は、石けん等で手をよく洗うこと。

(鶏に関する注意)

- ・本剤の投与前には健康状態について検査し、重大な異常を認めた場合は投与しないこと。

(取扱い及び廃棄のための注意)

- ・外観又は内容に異常を認めたものは使用しないこと。
- ・使用期限が過ぎたものは使用しないこと。
- ・本剤には他の薬剤を加えて使用しないこと。
- ・よく振り混ぜてから使用すること。
- ・開封後は速やかに使用すること。
- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・直射日光、加温又は凍結は品質に影響を与えるので、避けること。

・使い残りのワクチン及び使用済みの容器は、消毒又は滅菌後に地方公共団体条例等に正しい処分、若しくは感染性廃棄物として処分すること。

2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- ・事故防止のため、作業時には防護メガネ、マスク、手袋等の防護具を着用し、眼、鼻、口等に入らないように注意すること。誤って当該部に入った場合は、直ちに水で洗浄やうがい等を行うこと。必要があれば本使用説明書を持参し、医師の診察を受けること(本ワクチン株は、人に対する病原性はない)。
- ・開封時にアルミキャップの切断面で手指を切るおそれがあるので注意すること。

(鶏に関する注意)

- ・本剤を混合する飼料及び本剤を投与した後に給与する飼料には、ワクチンの効力が失われるおそれがあるので鶏コクシジウム症予防薬を混合しないこと。また、サルファ剤等の抗コクシジウム活性を有する薬剤の使用は、使用する期間を問わず、獲得免疫の持続性を短縮する場合があるので注意すること。
- ・本剤を他のワクチンと併用した場合、特に、鶏伝染性ファブリキウス囊ウイルスに対する抗体価に低下が見られる場合がある。
- ・特定の群においては、遺伝形質、併発する感染症、栄養状態及びストレスといった要因により、本剤に対して十分な免疫応答を示さない個体が少数ながら存在する可能性がある。

(取扱いに関する注意)

- ・このワクチンの使用に際し、下記の各項目の内容を厳守すること。
 - ・本剤を混合した飼料を給温ランプの直下に配置することは避けること。
 - ・本剤の飼料への混合は投与直前に行い、混合した飼料の給与は速やかに行うこと。
 - ・本剤を混合した飼料が完全に摂取された後に、通常の飼料の給与を開始すること。
- ・本剤の投与に使用した器具類はオルソジクロロベンゼン系消毒薬に2日間浸漬して消毒するか、又は熱湯に1時間以上浸漬すること。
- ・免疫を獲得する前にコクシジウムの野外株による感染を少なくするために、本剤を投与する予定の鶏群は、あらかじめ清掃、消毒をした鶏舎に導入すること。
- ・本剤を投与した鶏群の糞及び敷料は、鶏のオールアウト後適切に処理すること。

(専門的事項)

① その他の注意

- ・本剤はコクシジウム生ワクチンであり、投与された鶏がワクチン株によって再感染することによって免疫を獲得する。
- ・通常、本剤投与後1～3週間又はそれより後に、投与した鶏から排泄される糞便中にオーシストが認められる。これらのオーシストの大部分は、本剤に由来するオーシストであり、敷料を介して再感染したものである。

【有効期間】

製造後11ヵ月間(最終有効年月は外箱及びラベルに表示)

【包装】

4mL (1,000羽分)

20mL (5,000羽分)

【製品情報お問い合わせ先】

MSDアニマルヘルス株式会社

〒102-8667 東京都千代田区九段北一丁目13番12号

TEL: 03-6272-1099, FAX: 03-6238-9080

製造販売元(輸入)



株式会社 科学飼料研究所
東京都中央区八丁堀三丁目3番5号

発売元

MSDアニマルヘルス株式会社
東京都千代田区九段北一丁目13番12号



獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所(<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>)にも報告をお願いします。